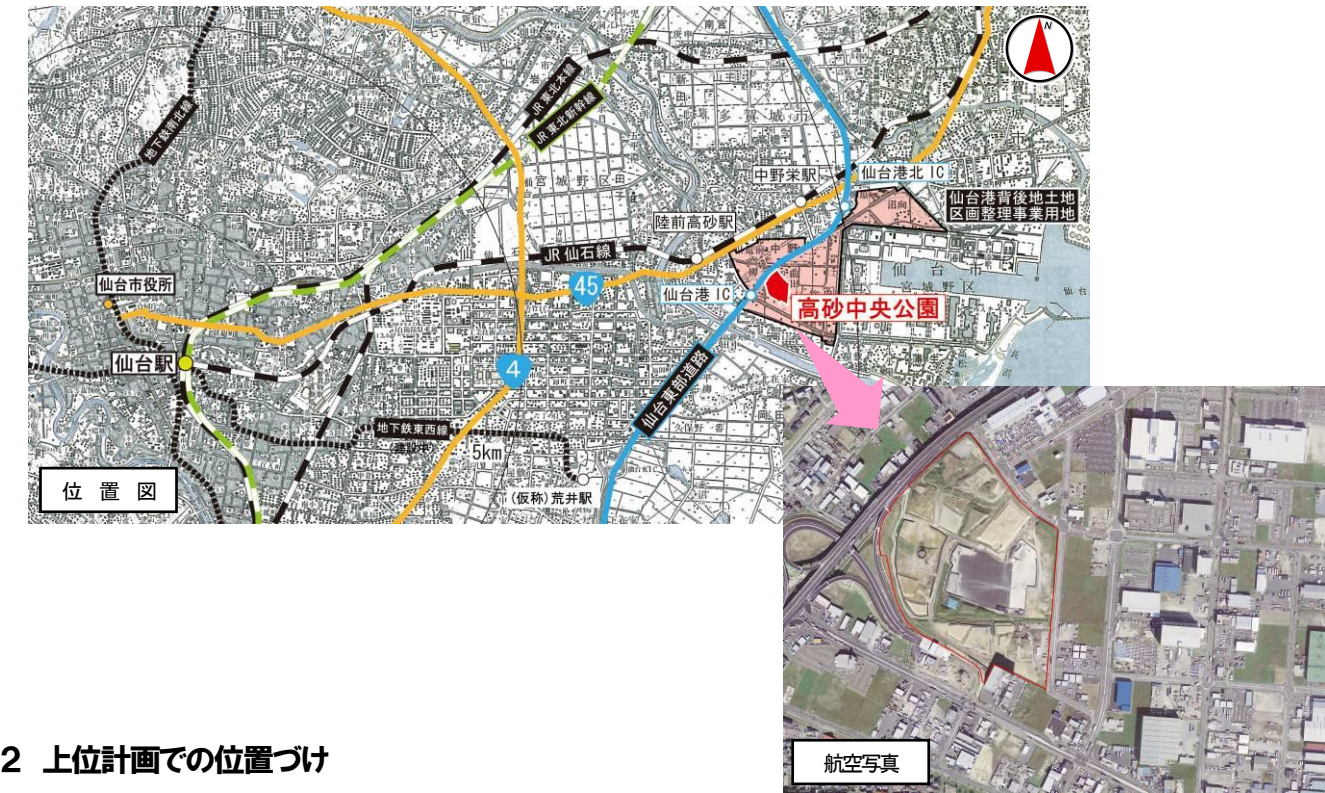


# 高砂中央公園基本計画 概要版

資料3-1

## 1 公園の概要

公園種別	総合公園
面積	14.5ha
事業期間	平成5年度～平成28年度（現事業認可期間）
所在地	仙台市宮城野区中野字蓬田、同字須賀ほか 地内



## 2 上位計画での位置づけ

- 仙台市総合計画（基本計画）  
「地域の緑の拠点として、高砂中央公園や海岸公園などの整備を計画的に進める」
- 仙台市みどりの基本計画（基本方針Ⅲ）  
「より親しみやすく、より快適に、みどりの質を高める」ための具体的な施策として高砂中央公園整備事業
- 東西線沿線まちづくり基本方針（（仮称）荒井駅）  
「仙台港背後地において、水族館の実現に向けた取組みを進める」

## 3 これまでの経過

平成2年11月	仙台港背後地土地区画整理事業の都市計画決定
平成5年11月	公園の都市計画決定、日本庭園を中心に運動、健康系の広場を配置
平成19年12月	〔計画見直し〕 社会的ニーズ、住民要望の変化に対応し、多目的広場と野球場、テニスコートを備える計画
平成21年3月	公共施設管理者負担金の支出完了に伴い、宮城県から仙台市へ公園全域の管理引継ぎ
平成22年3月	〔再見直し〕 見直し案をベースに、（前回提案の）水族館を配置し施設規模を調整

## 4 計画の背景

- 総合公園  
仙台市東部地区を代表する「緑の拠点」として整備する。
- 立地特性  
臨港地区から背後地のセンター地区を通り、本公園へと至るルートは人々の流れを生む交流軸となる。この交流軸を積極的に活かすことにより交流人口を増やし、受けとめる場として本公園ににぎわい空間を創出する。
- 水族館整備の推進  
本来の多様な公園機能に加え、水族館を整備することにより新たな魅力を持つ交流拠点を創出する。
- 東日本大震災  
震災後初の大規模公園の新規整備であり、必要な防災機能を備える公園として整備する。

## 5 計画コンセプト

「新たな 交流の核となる “復興の杜” を創ろう」

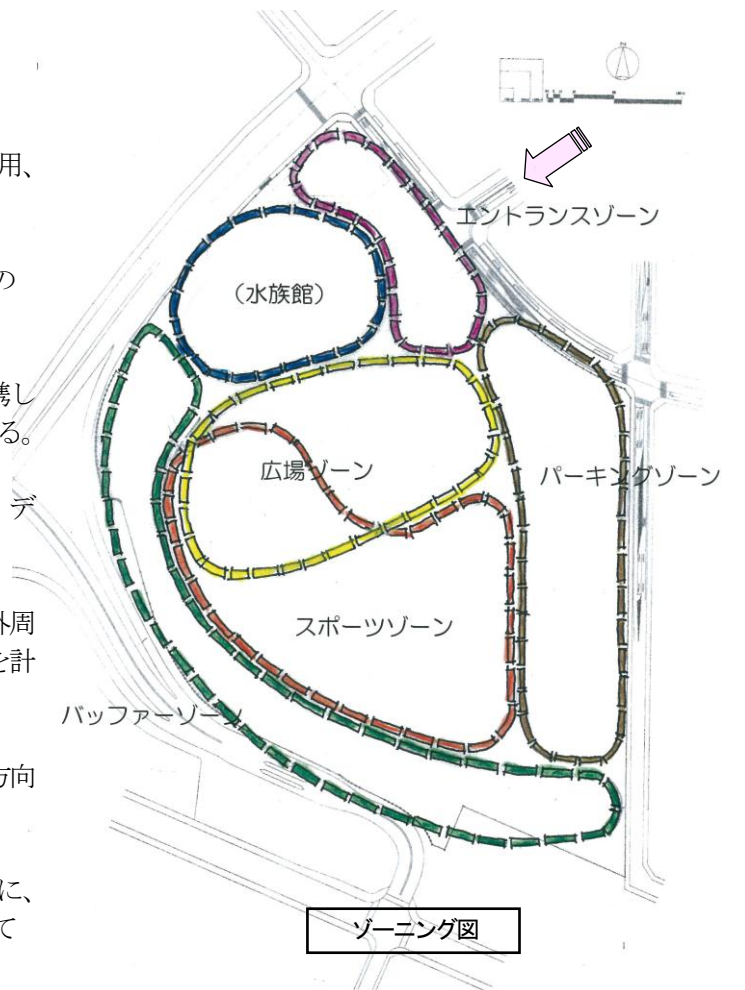
## 6 基本的な考え方

- 「復興」、「交流」、「防災」をキーワードとして3つの基本的な理念を設定。
- ① 復興のシンボルとして杜を創出する
- ② 交流を基軸に地域発展の一翼を担う
- ③ 震災後に求められる防災機能を備える

## 7 ゾーニング

上記「基本的な考え方」を踏まえ、土地利用、機能配置を以下のとおり計画する。

- エントランスゾーン  
仙台港から本公園に至る様々な交流施設との連携を意識して配置する。
- 広場ゾーン  
本公園の重要な核として、他のゾーンと連携した利用が図れるよう公園の中心部に配置する。
- スポーツゾーン、水族館  
多様な交流を創出するため、各種運動施設、デイキャンプ場、遊具や水族館等を配置する。
- バッファゾーン等  
公園全体が大きな杜の景観を有するよう、外周部を中心に、地域植生に配慮した豊かな緑を計画する。
- パーキングゾーン  
各ゾーンにアクセスしやすいように、南北方向へ細長い駐車場を計画する。
- 防災の考え方  
津波避難のため、水族館を活用するとともに、高速道路側に盛土による斜面地を高台として利用する。



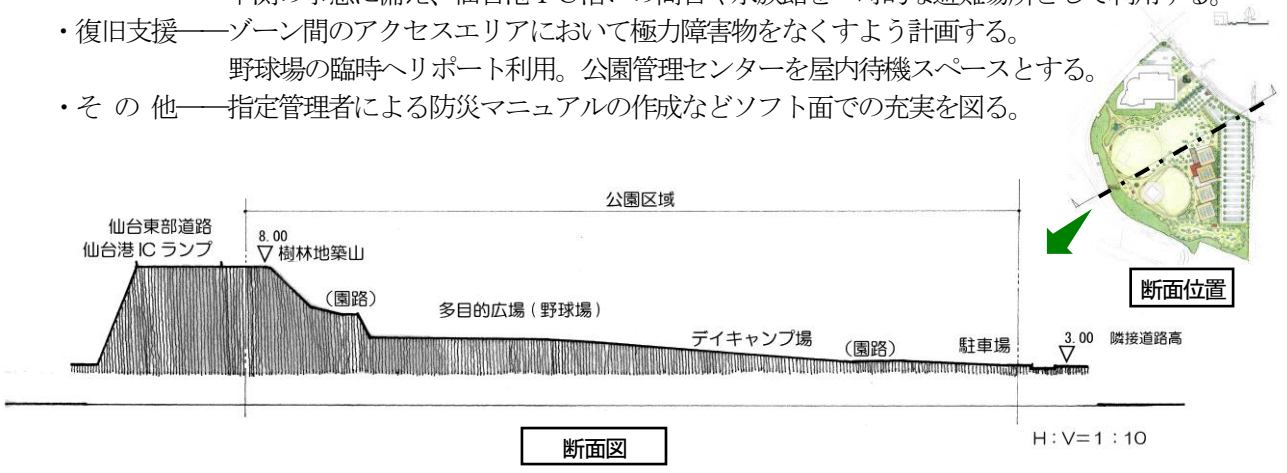
ゾーニング図



8 計画概要

○ 防災の考え方

- ・被災状況——本公園のエリアは津波により深さ約0.6m浸水した。
- ・避難場所——本公園は津波避難エリアに入っているため、地震災害時の避難場所として指定できない。
- ・災害直後——西側地区へと円滑に避難誘導を促すためのサインシステムや放送設備を整備し、消防局による津波情報伝達システムを設置する。  
不測の事態に備え、仙台港IC沿いの高台や水族館を一時的な避難場所として利用する。
- ・復旧支援——ゾーン間のアクセスエリアにおいて極力障害物をなくすよう計画する。  
野球場の臨時ヘリポート利用。公園管理センターを屋内待機スペースとする。
- ・その他——指定管理者による防災マニュアルの作成などソフト面での充実を図る。



○ 復興のシンボル

- ・東部地域の緑の復興事業と連携し、「近隣の杜ゾーン」の拠点公園としてふるさとの杜の再生を図る。
- ・多目的に利用できる広場や様々な運動施設、学びの機会を提供する水族館を公園施設として導入し、多様な世代でにぎわう交流拠点を創出する。

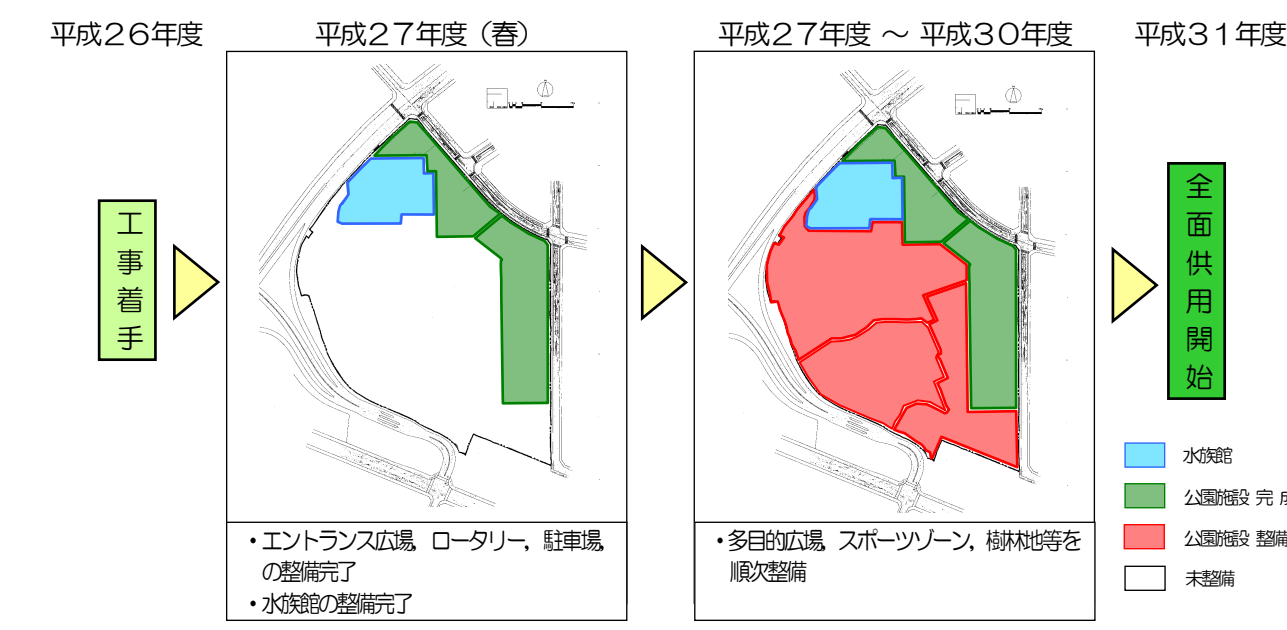
○ 水族館との調和

- ・水族館との干渉帯を広く取り、騒音等展示生物への影響を和らげるほか、管理上のクリアランスを確保する。
- ・建築物の壁面や床、エントランス広場等の公園資材との間に適切な色彩調節を行うほか、植物による建築物の修景を積極的に行い、他の公園施設・景観との一体感の向上を図る。

○ 植栽計画

- ・地域植生に配慮し植物材料を選択する。土壌調査等から必要な対策を講じ、健全な生育を促す。
- ・樹林地の整備にあたっては、一群の緑としても自然に仕上がるよう注意を払うとともに、施設エリアの植栽については、生育環境に応じた緑化植物の使用や植栽方法を用いるようにする。
- ・各々の場に応じた修景手法を用いて落ち着きのある空間作りを心がけるほか、外周植栽、内部植栽における工夫やシンボルツリーについての検討を行うなど、公園全体を豊かな杜とする計画の具現化を図る。

9 整備スケジュール



10 基本計画図

○ 施設概要

- ・エントランス広場(0.75ha)、多目的広場(1.45ha、野球場2除く)
- ・野球場(2面、2.56ha)、テニスコート(8面、0.67ha)、パークゴルフ場(練習用9ホール、0.66ha)ウォーキング・ジョギングルート(一周約400m)、公園管理センター兼クラブハウス
- ・樹林地及び植栽地(3.06ha)
- ・駐車場(約800台、2.06ha)、ロータリー(0.32ha)、水族館(1.35ha)

